

りょくえん

社協支部だより
第 31 号
平成 24 年 3 月 15 日
各務原市社会福祉協議会
発行 緑苑連合支部



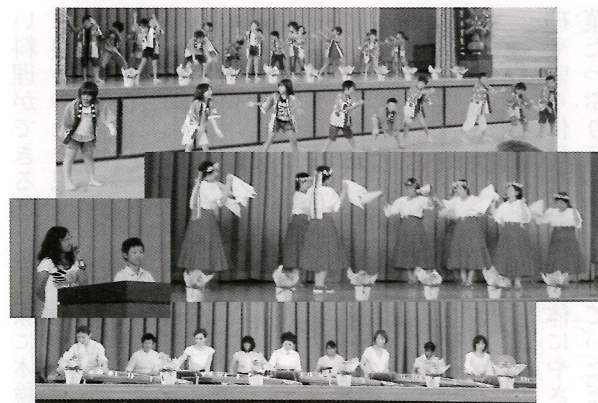
緑苑敬老の集い30周年を迎えて

日頃より社協緑苑支部の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
昨年の9月19日(月)、緑陽中学校体育館において、記念すべき「第30回緑苑敬老の集い」を無事開催することができました。当日は過去最高の出席者数となる合計192名の方々が参加されました。これもひとえに皆様のご協力の賜物と感謝しております。
緑苑支部活動のメインイベントとして、30年間「敬老の集い」を継続して実施できたことには、深い意義があると思います。
社会福祉活動を地域で推進するために、緑苑支部をゼロから立ち上げ、様々なイベントを企画されてきた諸先輩方。30年余りの支部活動を陰で支えていただいた理事や評議員の皆様

■敬老のつどいにご協力いただいた方々

- ・ お祝いの言葉 松浦優成さん、柴田萌さん
- ・ 福祉標語表彰 幸本朗さん、稲垣かおりさん
- ・ 琴演奏 綾箏会、民舞 笑扇の皆さん
- ・ 緑苑小子ども会、ひまわりフォークダンスの皆さん
- ・ 緑陽中吹奏楽部の皆さん

様。地域活動の重要性を認識して会場提供などで積極的に支援していただいた小中学校の方々。困った時には何かと助け合い、協力し合っていたいただいた自治会や青少年推進委員会、体育振興会の皆様。そして、どんな活動にも理解を示し、楽しみながら積極的に参加していただいた住民の皆様。これらの方々への支えが無ければ、これまでの支部活動を継続することができなかつたと言っても過言ではありません。
この様な地域活動を通じて、緑苑の特色を生かした独自の文化や歴史を形成し、この地で生まれ育った子ども達に継承され、更に発展していくことを期待したいと思います。
社会福祉協議会緑苑連合支部長
安村佳之



▲元気なソーラン踊りやフォークダンスで盛り上がる会場



▲色とりどりの着物で優雅な踊りを披露

おたっしや倶楽部 後藤田鶴子さん(85歳)



▲調理ボランティアにて

南1丁目の後藤田鶴子さんをご紹介します。昭和51年に犬山市から移ってこられました。子供は3人、孫7人、曾孫1人、ご主人はすでに亡く、今年は十三回忌にあたるそうです。
ご主人が高血圧で倒れるまでは、30数年助産婦として活躍していらっしゃいました。その間、取り上げた子どもは数知れず、人として生きていく最初の瞬間に立ち会い、色々な人生模様を見てこられました。
ご自分の孫7人の内、5人まではご自身で取り上げていらっしゃるそうです。
趣味は多数、行事・講座等は、できるだけ参加しようという心がけていらっしゃいます。アートフラワー・大正琴は80歳を過ぎてから始められ、現在に至っています。玄関までのアプローチには手入れの行き届いた花々、

室内は大輪のアートフラワー、貼り絵の干支の辰、等々、ご自身で作られた作品にあふれ、はなやかに目を楽しませて下さいます。
小説もお好きで、お伺いした時には推理小説を読んでもおられました。数読にも挑戦され、積極的に頭を使っておられる様子でした。
信条は、「何事にもこだわらずに、のんきに、ありのままに生きる」と

毎晩、ご仏壇の前で今日も元気に幸せに過ごさせていたいただいた事を感謝し、ご主人様にご報告なさるそうです。
ご長男さん一家は近くに住んでおられ、前記の小説・数読もご長男さんが届けてくださったそうです。お嬢さんも一日おきに様子を見てきてくださるので、とても感謝し安心しています。と、静かに話してくださいました。

これからの、自治会等の行事にはできる限り積極的に参加して下さいますように、いつまでもお元気でいてください。
(山本)

6/25 福祉講演会を開催



▲糖尿病は怖い病気!

昨年6月25日、緑苑コミュニティセンターにて、福祉講演会を開催しました。
当日は40名を超える参加者が集まり、最初に「ジョイフル各務原」さんから介護保険や介護サービスについての説明がありました。続いて村井医院の村井敏博先生から、生活習慣病にならないための心構えや、東日本大震災に派遣された医療チームの一員としての活動報告などがあり、有意義な話を沢山聞くことができました。
講師の方々、ほんとうにありがとうございました。

11/28 手作り弁当を「自宅へ」

昨日は皆様の愛情が一杯つまった手作りの弁当を届けてくださってありがとうございました。
普段は「一汁一菜」で通している私にとっては、十指に余る料理が並んでいるお弁当は、どの料理を食べても味・分量ともに大満足の夕食をいただくことができました。

とができます。工夫すれば同じ食材でもこのようにおいしくいただけます。とがわかり、今後の参考にしたいと思っております。
ご馳走様でした、元気をいただきました。
▲ご自宅へお弁当

1/29 ふれあいぜんどう会



▲大きな軒でどっこいしょ!

毎年恒例となっている「ふれあいぜんどう会」が、1月29日(日)、緑苑ふれあい市民文化祭と同時開催で実施されました。
快晴となったコミセン会場では、ぜひ入られる餅つきイベントも開催し、元気な子ども達や一般参加の方々に、楽しく餅つきを体験していただきました。
会場には大勢の方々を訪れ、つきたてのお餅が入ったおいしい手作りぜんどうや、きな粉餅などを右へ左へいただきました。

近隣ケアグループ研修会を開催



昨年9月3日(土) 緑苑コミュニティセンターにおいて各務原市社会福祉協議会主催による近隣ケアグループ研修会が開催されました。

本研修会は、緑苑では初めての試みであり、市社協の全面的な協力のもと、地域に密着した支え合いの仕組みや見守り活動についての学習を行い理解を深めました。

当日は、緑苑の近隣ケアグループを中心として、自治会長、民生児童委員、支部社協役員約50名が一堂に会し、市社協から福祉活動

互いに見守り 支え合う地域づくり

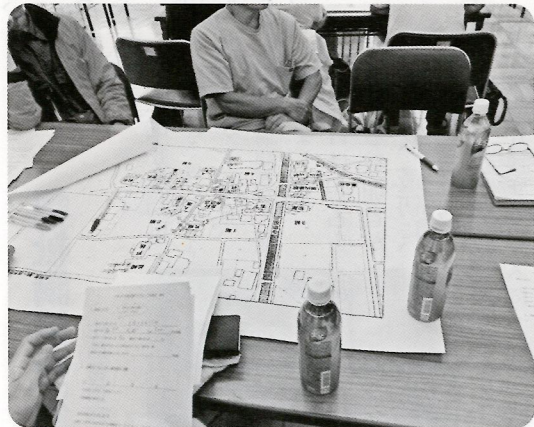
緑苑地域の高齢化率は市の平均が21%に対し、24%と上位に位置しており、独居老人や老々家族の所帯数が年々増加しております。

最近ではプライバシーを重視するあまり近所づきあいが希薄になる傾向がありますが、昔の日本では「袖触れ合うも他生の縁」という言葉どおり、生活の一部にはいつも隣近所との交流が含まれていました。

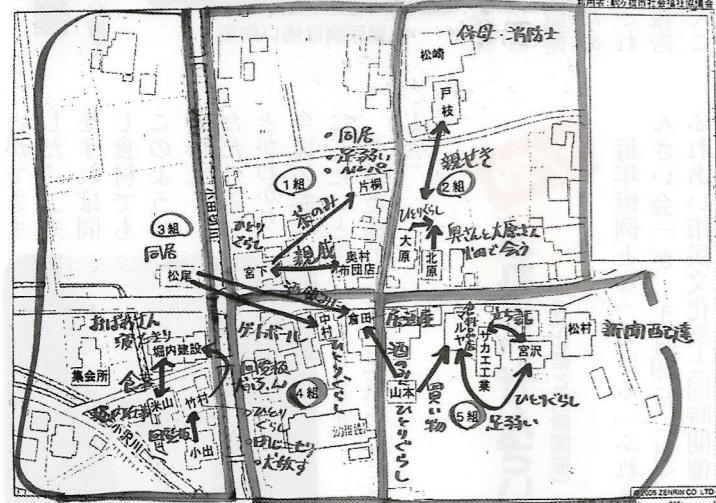
支えて支えられて、みんなが主役の町づくり

これによって、長い日本の歴史の中では様々な年齢層がうまく調和を取りながら、地域内の高齢者や困っている人をお互いに支え合う仕組みが出来上がっていたと考えられます。

これから高齢化社会を迎える私たちは、一人では生きていけないことを再確認し、今こそみんなで支え合う温かい気持ちを持つことが大切だと感じました。



▲支え合いマップ作りに議論が白熱



▲支え合いマップ作りに議論が白熱

の紹介があった後、支え合いマップ作りの実習を行いました。研修会の概要は左記の通りです。

支え合いマップを 地域のみなさんの命綱に

最近全国的に注目されている「支え合いマップ」とは、小地域ごとに、独居高齢者や、老々介護所帯や体に障害を持つ方などの要介護者等、気になる人に関する近所づきあいなどの情報を書き込んでつくる地図のことです。

ご近所なら誰でも知っている情報を、住民同士で情報交換し、災害時の助け合い、孤独死の防止等、住民の支え合いや見守り活動の基盤となるように作成します。

指導に従い、架空の地区を想定した「地域支え合いマップ」づくりに挑戦しました。いろんな情報を元に地域住民の日頃のつながりをまとめながら、地域の問題点やつながりを探っていききました。

最後には各グループごとに簡単な発表を行い、参加者からは異口同音に、自分の暮す地域を見直すことで問題点を発見して、ご近所みんなで話し合う。「私の住んでいる町は、私たちの手で守る」を形にしたいとの感想が述べられました。

平成23年度緑苑福祉標語入選作品

■小学校の部 (応募数91作品)

○最優秀賞

「ありがとう」その一言が きずなの芽
6年1組 幸本 朗

○優秀賞

・こんにちは えがおのあいさつ うれしいな
1年1組 あんどう ゆみ
・げん気にあいさつ みんながなかなくなる まほう
2年1組 ふくい まなか
・つなごうよ えがおのバトン このまちで
3年1組 大原彩夏
・勇きだし ぼくが運ぶよ その荷物
4年2組 酒井泰知
・ボランティア みんなでひろげる ふくしのわ
5年2組 山本結惟

■中学校の部 (応募数140作品)

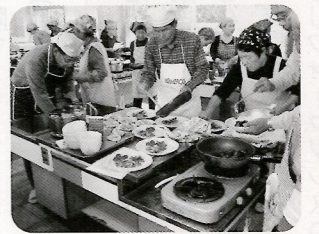
○最優秀賞

おはようで 始まる朝の 気持ちよさ
1年5組 稲垣 かおり

○優秀賞

・あなたの小さな親切が だれかの大きな 幸せに
1年1組 山路琴弓
・毎日笑顔が増える町 優しい気持ちに なる町
1年2組 河路倫花
・ほんとはね 心はつながる だれとでも
1年3組 山田奈桜
・はじめよう 小さなことから ボランティア
1年5組 原山侑大
・「大丈夫？」 声をかければ 笑顔が広がる
1年5組 山本理紗

手作り料理ふれあい体験会に参加して



牛丸茂樹さん
誘われるままに、11月1日(火)快晴に恵まれ暑く感じるくらいの日、緑苑小学校で開催された料理教室に参加しました。参加者43名、8班に分かれ阿多

蒸子講師のご指導の下、四品の料理に挑戦しました。私には初めての参加でしたが、皆さん和気あいあいの楽しい雰囲気の中で手作り料理が始まりました。

料理には日頃から関心を持っていましたが、実際には殆ど家内まかせでしたので、食材の取り扱い方、調味料の割合など大変新鮮に感じました。料理は全体として身体にやさしく、栄養バランスもとれ、出来上がった作品を大変美味しく味わいました。特にメインの「豚肉のゆかり焼き」は塩、コショウを使わず、ゆかりの味付けのみで、こんなに美味しくできるのかと驚いた次第です。阿多講師が強調されていたのが、塩味を減らし、全体として薄味と感ぜられる料理の品々の中でも一品しっかりとした味の料理があれば、全体として満足感が生まれ高齢者にとってやさしく、身体に良い料理となりますとの事でした。

日常生活で、安価で簡単に手に入る食材を使っての料理教室でしたが、高価な食材でなくても、こんなに美味しく、身体に良

ふれあい宅配弁当

ボランティア参加記

東 かづ子さん

今年も「宅配」弁当づくりの季節がきました。

緑苑小の家庭科室で2日間にわたって調理や盛り付けをして、身体にやさしい、野菜たっぷりの料理を食していただくこと、からし味、梅味、甘酢味、ごま味等々を緊張しながらも和気あいあいと作る事ができました。

盛り付けられたお弁当を見て、やっとできたという気持ちと予定の時間までに間にあった安心感が入り交じりました。

お弁当を通して、緑苑の中で地域の絆が強くなっていけばいいなと感じました。



▲緑苑小家庭科室にて